

第3章 将来の環境像及び基本目標

3.1 将来の環境像

将来の環境像とは、本市がこれからどのような環境を目指して取組を推進していくかを示す長期的な目標です。

本市の恵まれた環境を守り育てていくためには、地域の環境を総合的な視点でとらえるとともに、市民・事業者・市民団体・行政といった多様な主体が、目指すべき将来の環境像を共有し、その実現に向けて連携・協働して取り組んでいくことが必要となります。

本計画では、私たちの暮らしに様々な恵みをもたらしている豊かな自然や貴重な水資源を、みんなで守り育て、未来の子どもたちにつないでいくことによって、安心して心豊かに暮らすことができる環境が確保された水も緑も人も輝いているまちの形成を目指していきます。これは、第1期計画に引き続き、本市が実現を図るべき環境面における長期的な目標です。

そのため、将来の環境像についても、第1期計画に引き続き、以下のとおり設定します。

石 鎚 に 育 ま れ 水 も 緑 も 人 も 輝 く ま ち 西 条
— 子どもから大人までみんなでつなぐ豊かな自然 —

3.2 基本目標

将来の環境像の実現を図るため、6つの環境の範囲ごとに基本目標を設定し、それに基づいて67の環境保全施策を推進していきます。

また、環境保全施策の進捗状況や環境の状況を定量的に把握・評価するため、22の計画指標を設定します。

(1) 基本目標1【環境教育】

みんなで学び・考え、地域で取り組むまち

本市の恵まれた環境を未来にわたって守り育てるためには、市民一人ひとりが地域の環境について学ぶとともに、未来の環境のためにできることを考え、恵まれた環境を未来の子どもたちにつなぐために取り組んでいく必要があります。そのため、学校や公民館等の地域の様々な場における環境学習の機会の創出、環境に関する様々な情報の提供等によって、持続可能な環境づくりを担う人材の育成に取り組んでいきます。

■ 計画指標

指標	指標値	
	現況 (平成26年度)	目標 (平成38年度)
環境に関する出前講座の回数	8回/年	10回/年

(2) 基本目標2【水環境】

豊かで清らかな水環境を大切にすまち

本市のシンボルである「うちぬき」をはじめとする貴重な水資源は、飲料水や生活用水としての役割にとどまらず、地域の豊かな自然や生物多様性を支えるとともに、私たちの暮らしにうるおいや安らぎといった様々な恵みをもたらしています。この恵みを未来につなぐために、市民一人ひとりが水は限りある資源であることを認識し、節水等の適正利用に努めるとともに、健全な水循環の確保に向けた活動に地域一体となって取り組んでいきます。

■ 計画指標

指標	現況 (平成26年度)	指標値	
		目標 (平成36年度)	目標 (平成38年度)
「地下水の保全に関する条例」の対象範囲	旧西条市域		全市域
地下水年報の発行	発行		発行
下水道普及率	57.2%	60.4%	
家庭用井戸水の水質基準適合率(一般項目)	97.8%		100%
公共用水域の 環境基準適合率	河川(BOD)	76.5%	100%
	湖沼(COD)	100%	100%
	海域(COD)	36.4%	100%

(3) 基本目標 3【自然環境】

石鎚山から燧灘へ続く豊かな自然と共生するまち

石鎚山から燧灘へ続く豊かな自然や生物多様性は、本市が誇る貴重な地域資源であり、私たちの暮らしに様々な恵みをもたらしています。この恵みを未来につなぐために、市民一人ひとりが地域の豊かな自然環境はかけがえのないものであることを認識し、地域の自然や生物多様性の保全活動に地域一体となって取り組むことで、自然と人が共生する「自然共生社会」の構築を目指していきます。

(4) 基本目標 4【生活環境】

健やかな環境を守り、資源を活かす循環のまち

従来の産業型公害に加えて、都市・生活型公害や微小粒子状物質（PM2.5）等の新たな大気汚染にも適切に対応し、市民の健やかな暮らしの保全に取り組めます。また、市民一人ひとりがごみを排出する当事者であることを認識し、ごみの発生抑制・再利用により家庭や事業所から排出されるごみの量を減らすとともに、資源のリサイクル活動の更なる拡大に地域一体となって取り組むことで、持続可能で環境への負荷を可能な限り少なくする「循環型社会」の構築を目指していきます。

■ 計画指標

指標		指標値		
		現況 (平成 26 年度)	目標	
			(平成 31 年度)	(平成 38 年度)
大気質の環境基準適合率	二酸化硫黄	100 %		100 %
	浮遊粒子状物質	100 %		100 %
	二酸化窒素	100 %		100 %
	光化学オキシダント	0 %		100 %
	微小粒子状物質	0 %		100 %
騒音の環境基準適合率	一般環境騒音	100 %		100 %
	自動車騒音	40 %		100 %
振動の要請限度適合率	道路交通振動	100 %		100 %
悪臭の規制基準適合率		100 %		100 %
1 人 1 日当たりのごみ排出量(家庭系)		687 g	649 g [※]	
ダンボールコンポスト講習会の回数		5 回/年		10 回/年

※：第 2 期西条市総合計画

(5) 基本目標 5【社会環境】

安全・安心な暮らしと景観・文化が調和したまち

本市の恵まれた水や緑、歴史・文化資源の保全・活用を進め、地域特有の景観の形成を図るとともに、まちの美観の維持・向上に向けた活動に取り組むことで、暮らす人も訪れる人も、うるおいと安らぎを実感できる良好な環境の創出を目指していきます。また、集中豪雨や地震等の大規模自然災害に備えて、災害に強く安全・安心な暮らしを支える都市基盤の整備に取り組んでいきます。

(6) 基本目標 6【地球環境】

低炭素で豊かな暮らしの実現を目指すまち

地球規模の環境問題である地球温暖化の解決には、市民一人ひとりが温室効果ガスを排出する当事者であることを認識し、ライフスタイルやビジネススタイルを見直すことで、可能な限り資源・エネルギーの無駄遣いを減らしていく必要があります。そのため、公共施設に再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等を率先導入して市民の環境意識の高揚を図るとともに、市民や事業者による自主的・積極的な取組を促進するための普及啓発や支援を行い、温室効果ガスの排出を抑制しつつ豊かな暮らしを実現する「低炭素社会」の構築を目指していきます。

■ 計画指標

指標		指標値		
		現況 (平成 26 年度)	目標	
			(平成 31 年度)	(平成 32 年度)
市の事務・事業から排出される温室効果ガスの削減率	職員の取組	— (14,322 t-CO ₂)	/	平成 27 年度比で 4%削減 ※ ¹
	ごみ処理	— (13,084 t-CO ₂)	/	平成 27 年度比で 7%削減 ※ ¹
住宅用太陽光発電システム導入促進補助件数(累計)		2,193 件	3,000 件 ※ ²	/

※1：西条市第3期地球温暖化対策実行計画

※2：第2期西条市総合計画

■施策体系

将来の環境像	基本目標	環境の範囲	環境要素	環境保全施策	
石 鎚 に 育 ま れ 水 も 緑 も 人 も 輝 く ま ち 西 条 ー 子 ども から 大 人 ま で み ん な で つ な ぐ 豊 かな 自 然 ー	みんなで学び・考え、地域で取り組む まち	環境教育	市民への環境教育	①環境学習の機会の創出・支援 ③環境情報の充実	②自主的な環境保全活動への支援
			子どもへの環境教育	①環境学習の機会の創出・支援	②食育の推進
			事業者への環境教育	①環境学習の機会の創出・支援	②自主的な環境保全活動への支援
			環境教育の基盤	①環境教育の拠点づくり	②指導者の育成
	豊かで清らかな水環境を大切にす まち	水環境	地下水	①地下水のモニタリング調査 ③水量維持・水質保全の推進	②健全な水循環の保全・管理の推進
			公共用水域	①公共用水域のモニタリング調査 ③産業排水対策の推進	②生活排水対策の推進
	石鎚山から燧灘へ続く豊かな自然と 共生するまち	自然環境	生物多様性	①計画的な開発の推進 ③外来生物対策の推進	②多様な野生生物の保護
			山岳地域	①自然林の保護	②地域連携保全活動の推進
			林業地域	①森林整備の推進 ③地域連携保全活動の推進	②林業の活性化
			里山・社叢林	①野生鳥獣の適正な保護管理 ③地域連携保全活動の推進	②巨樹の保全
			農作地	①環境保全型農業の推進 ③農業の魅力発信	②農業の持つ多面的機能の維持・発展
			河川・水路・湧水池・ため池	①生物多様性に配慮した整備の推進 ③地域連携保全活動の推進	②河川美化意識の高揚
			海域(干潟)	①海岸漂着物への対応	②地域連携保全活動の推進
	健やかな環境を守り、資源を活かす 循環のまち	生活環境	大気質	①大気汚染物質のモニタリング調査 ③広域大気汚染への対応	②大気汚染防止対策の推進 ④アスベスト飛散防止対策の徹底
			騒音・振動	①騒音・振動のモニタリング調査	②騒音・振動防止対策の推進
			悪臭	①悪臭のモニタリング調査	②悪臭防止対策の推進
			土壌汚染・有害化学物質・ 空間放射線量	①土壌汚染の未然防止 ③有害化学物質による汚染の未然防止	②ダイオキシン類のモニタリング調査 ④空間放射線量のモニタリング調査
			廃棄物	①リデュース(ごみの減量化)の推進 ③リサイクル(ごみの再資源化)の推進 ⑤ごみのポイ捨て・不法投棄の防止	②リユース(ごみの再利用)の推進 ④適正処理の推進
	安全・安心な暮らしと景観・文化が 調和したまち	社会環境	公園・緑地	①整備・維持管理の推進	②市街地の緑化の推進
			水辺	①水とふれあう機会の創出	
			景観	①地域の特性を活かした景観づくりの推進	②まちの美観の維持・向上
			歴史・文化	①文化財の保全・活用	
			防災・安全・安心	①防災対策の推進	②空き家・空き地対策の推進
	低炭素で豊かな暮らしの実現を 目指すまち	地球環境	地球温暖化	①公共施設の低炭素化 ③事業所の低炭素化 ⑤地域全体の低炭素化	②家庭の低炭素化 ④交通の低炭素化 ⑥気候変動への適応
オゾン層の破壊			①フロン類の排出抑制対策の推進		
酸性雨			①酸性雨のモニタリング調査		